7月13日(木)	小 688 kcal 中 868 kcal	7月14日(金)	小 696 kcal 中 829 kcal	7月18日(火)	小 578 kcal 中 714 kcal	7月19日(水)	小 626 kcal 中 776 kcal
ごはん	*はん バーガーパン		コーンライス		夏野菜のポークカレー		
牛乳		ミートローフ		4乳		牛乳	
皿うどん		牛乳		白身魚の		きゃべつのソテー	_
春巻き		<sup>- 乳</sup>   ひよこ豆のスープ	0		ラーブ(許さ	冷凍みかん	
中では		ひよこ豆の人一)		オニオンマヨネーズ焼き 野菜スープ		14140411.VC	
食材名	】 分量(g)	食材名	│ 分量(g)	食材名	<b>分量(g)</b>	食材名	/ 分量(g)
米	55 g	バーガーパン	1 2	米	70 g	米	74 g
牛乳	本	牛ミンチ	30 g	ホールコーン	15 g	麦	6 g
皿うどん		豚ミンチ	30 g	塩	0.3 g	へ   豚肉	30 g
/ - / · · · · · · · · · · · · · · · ·	20 g	たまねぎ	25 g	こしょう	0.02 g	塩	. 0.3 g
小学校 3~6年	30 g	にんじん	5 g	濃口しょうゆ	0.02 g	こしょう	わ 0.04 g
中学校	40 g	ホールコーン	10 g	チキンスープ	10 g	ジンジャーパウダー	<b>〈</b> 0.04 g
下	20 g	パン粉	7 g	パセリ(乾)	0.03 g	ガーリックパウダー	わ 0.04 g
ジンジャーパウダー	0.05 g	豆乳	3 g	 - 牛乳	本	たまねぎ	40 %
ガーリックパウダー	0.05 g	ノンエッグマヨネーズ	3 g	ホキ	60 g	ズッキーニ	10 0
塩	0.5 g	塩	0.5 g	塩	0.2 g	なす(八幡産)	<b>給</b> 15 g
こしょう	0.03 g	こしょう	0.02 g	こしょう	0.02 g	トマト	食   10 g
むきえび	20 g	ナツメグ	0.05 g	白ワイン	l g	l かぼちゃ	
はくさい	50 g	トマトケチャッフ゜	3 g	たまねぎ	25 g	にんじん	10 g
たまねぎ	30 g	さとう	2 g	パセリ(乾)	0.1 g	マーガリン	4 g
にんじん	10 g	トマトケチャッフ゜	9 g	************************************	2 g	小麦粉	4 g
たけのこ(水煮)	10 g	ウスターソース	4 g	ノンエッグマヨネーズ	9 g	へ。 ーストチャツネ	1.5 g
チンゲン菜	20 g	牛乳		ベーコン	10 g	塩	0.8 g
サラダ油	l g	<u></u>   豚肉	10 g	じゃがいも	20 g	こしょう	0.02 g
さとう	l g	おろしにんにく	0.3 g	にんじん	10 g	オールスパイス	0.02 g
酒	l g	たまねぎ	40 g	たまねぎ	20 g	赤ワイン	2 g
濃口しょうゆ	4 g	にんじん	10 g	三度豆	5 g	トマトケチャップ゜	2 g
水	30 g	ひよこ豆	15 g	薄口しょうゆ	3 g	ウスターソース	Ιg
片栗粉 	1.5 g	塩	0.4 g	チキンスープ	6 g	カレー粉	0.5 g
春巻き		こしょう	0.02 g	塩	0.5 g	カルダモン	0.01 g
小学校 35g		チキンスープ	6 g	こしょう	0.02 g	コリアンダー ローリエ	0.01 g
中学校 50g 揚げ油	3 g	薄口しょうゆ ローリエ	0.01 g	水	100 g	ローリエ   チキンスープ	0.01 g 5 g
3勿177四	J 9	水	100 g			水	80 g
			100 9		$\sim$ ( ) $\circ$	- <u>;</u>   年乳	一 本
						キャベツ	50 g
						ポークウインナー	10 g
						サラダ油	l g
/ 今月のわくわく給食は \ \						塩	0.2 g
						していまう 濃口しょうゆ	0.03 g
/ 「冷凍みかん」の曲とのコラボ給食です。 /						冷凍みかん	0.5 g I C
						13 /KV/13 /O	1 -

暑い時期の食中毒に注意!

するようになったのが始まりだそうです。



八幡市給食マスコット「たけんちゃん」

## 屋外の調理や食事で食中毒を 予防するポイント



●手や調理器具は、洗浄やアルコール消毒などで清潔に保つ

冷凍みかんは、1955年に小田原駅のキヨスクで販売

夏場に限らず、調理や食事の際の手洗いはしっかりとしましょう。

●安全な食材と水を使う

新鮮な食材を選び、清潔な水を使って調理をしましょう。

●生の食品と加熱済の食品を分ける

生の魚や魚介類と、すでに加熱してある食品は、容器や調理器具を分けるようにしましょう。

●しっかり加熱する

汁物は沸騰するまで、お肉や魚類は肉汁などが透明になってから

●安全な温度に保ち、調理後はすぐ食べる

自分で調理しない場合も油断は禁物です。屋台などで買ったものもすぐ食べましょう。

8月29日(火)からです。

給食当番のエプロンは、 忘れないように持っていきましょう。



夏場は、気温も湿度も高く、食中毒が起きや

すい時期です。 バーベキューやお祭りなど、夏休みは外で食べる機会も増えますので、今回は屋外の調理や 食事で予防するポイントをおさえておきましょう。

給食開始は